

「電気用品の技術基準の解説」の見直し依頼票

見直し依頼元： JET

見直し依頼日： 2020 年 1 月 31 日

現状解説（解説本 第 15 版 561 ページ）	見直し案	提案理由
別表第八 2(8) 電気こんろおよび電気レンジの解説 1. 本項は、・・・(省略) 2. イ項(ロ)において、 (1) 固定されるもの及び据え置かれるものにあつては、スイッチを「入」から「切」に操作したとき回り止め、光、色、音等により、確実に「切」の状態となることが確認できる構造を有するものであつて、次の <u>イからハ</u> までのうちの 1 以上を満足するものは、「不用意な操作ができない構造である」ものとみなす。 a ロック機構を操作しなければ「入」とならないもの b スイッチつまみの周辺にガードを設けてあるもの c スイッチつまみ操作部が操作パネル表面より奥まっているもの (2) 固定されるもの及び据え置かれるもの以外のものにあつては、ロータリースイッチであつて、押し回し式又は <u>回り止めストッパー</u> のついたものは、「不用意な操作ができない構造である」ものとみなす。 3.～4. (省略)	1. 本項は、・・・(省略) 2. イ項(ロ)において、 (1) 固定されるもの及び据え置かれるものにあつては、スイッチを「入」から「切」に操作したとき回り止め <u>(ストッパー)</u> 、光、色、音等により、確実に「切」の状態となることが確認できる構造を有するものであつて、次の <u>a から c</u> までのうちの 1 以上を満足するものは、「不用意な操作ができない構造である」ものとみなす。 a ロック機構を操作しなければ「入」とならないもの b スイッチつまみの周辺にガードを設けてあるもの c スイッチつまみ操作部が操作パネル表面より奥まっているもの (2) 固定されるもの及び据え置かれるもの以外のものにあつては、ロータリースイッチであつて、押し回し式又は <u>回り止め (ストッパー)</u> のついたものは、「不用意な操作ができない構造である」ものとみなす。 3.～4. (省略)	解説 2(1)の誤記を修正（「イからハ」→「a から c」）。 解説 2 の(1)と(2)で異なる用語（「回り止め」と「回り止めストッパー」）を使っており誤解を生じてしまうため、用語を統一する。

（当該部解釈）

別表第八 2 （8）電気こんろおよび電気レンジ^(解説 1)

イ 構造

（イ） （省略）

（ロ）スイッチを有するものにあつては、不用意な操作ができない構造^(解説 2)であること。ただし、危険が生ずるおそれのないスイッチにあつては、この限りでない。